

令和2年度全国労働衛生週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 平本 賢一

日頃より会員事業場の皆さまには、労働災害の防止及び労働者の健康確保に格別の御理解、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、全国労働衛生週間は昭和25年に第1回を実施して以来、今年で71回目を迎えます。この間、国民の労働衛生に関する意識を高めるとともに、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じて労働者の健康確保に大きな役割を果たしてきたところです。

今年度はコロナ禍の只中ではありますが、

「みなおして 職場の環境 からだの健康」

をスローガンに、例年どおり9月を準備期間、10月1日から7日までを本週間として全国労働衛生週間が実施されます。

現在の労働者の健康をめぐる状況をみると、過重労働や各ハラスメントなどによる脳・心臓疾患及び精神障害の労災請求件数は増加の一途であり、仕事や職業生活に強い不安や悩みなどを抱えている労働者は依然として半数を超えています。

また、健康寿命が延び、高齢労働者が職場においてより大きな役割を担うようになり、高齢労働者が安心して安全に働くことができる職場環境づくりや高齢労働者自身の健康づくりを推進していくことが求められているとともに、労働力の高齢化が進む中で、職場において病気を抱えた労働者の治療と仕事の両立への対応も必要となっております。

このような背景を踏まえまして、過重労働などについては、「働き方改革」の実施に加え、長時間労働による健康

障害の防止対策やメンタルヘルス対策の推進が必要となっております。

高齢労働者については、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を策定し、高齢労働者に優しい職場環境づくりや健康づくり等の取り組みを推進していくとともに、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」の周知啓発に努め、企業の意識改革や地域における支援体制の強化を進めていることとしています。

健康確保の観点から注視しなければならないこととして、化学物質に起因する労働災害が減少することなく推移していることがございます。有害物による労働災害の8割が特定化学物質障害予防などの特別規則の対象となっていない有害物によるものであることや石綿の製造、使用等が禁止される前に石綿含有建材を用いて建設された建築物の解体工事が2030年頃をピークとして増加が見込まれていることなどを踏まえまして、化学物質につきましては、「溶接ヒューム」を特定化学物質にするなどの措置をはかり、石綿につきましては、石綿障害予防規則を改正し、石綿によるばく露防止対策を強化することとしています。

皆様方におかれましても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施とともに、こうした労働者の健康を取り巻く状況の変化に適応した措置を着実に講じていただきたく、この労働衛生週間を契機として、労働衛生管理の重要性についての認識をさらに深めていただき、引き続き自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図られますようお願い申し上げます。

令和2年度 全国労働安全衛生週間スローガン
『みなおして 職場の環境 からだの健康』

新体験型

リスクアセスメント講習会開催される

去る7月22日(水)に、平塚市勤労会館に於いて、「リスクアセスメント実践講習」が18名の受講者のもと開催されました。

講習会開催にあたり、平塚労働基準監督署安全衛生課石田様より、「労働災害の状況」、「リスクアセスメントの法整備・必要性」について説明していただきました。続いて、安全衛生教育サポーター三瓶裕二氏による講習会が行われました。

コロナ禍ということで、講習会前後に机・椅子のふき取り消毒を事務局で行い、入館時は、マスク着用・健康チェック表での確認・手の消毒、席はひとテーブルに一人・列ごとに互い違いに空間を確保して座り、講義中は窓・扉を開放しながらエアコンを使用するといった、これまでとは異なる「新しい生活様式」での講習会となりましたが、真剣に受講する受講者の姿が印象的でした。

午前中は座学中心で、午後は本来であればグループワークでの交流による体験型で行うところですが、今回は、個

人ワークによる指名・質問形式となりました。とはいえ、体験型になるように対話によるコメントやアドバイスを盛り込みながら工夫されており、異例な状態での開催でもしっかり対応されていました。また、取材にあたり、事務局の苦勞も垣間見ることができ、ご対応に感謝いたします。



大東化学株式会社 岸 記

■労働災害発生状況 (労働者死傷病報告件数)

(令和2年7月31日現在)

		製造業	食料品 製造業 (製造業の内数)	建設業	道路貨物運送・ 陸上貨物取扱	小売業	社会福祉 施設	飲食店	その他	計
平 塚 労働基準 監 督 署	令和2年	44	17	20	30	31	25	13	45	208
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和元年	111	27	58	63	58	40	23	113	466
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	1	1
神 奈 川 労 働 局	平成30年	107	32	55	75	69	50	26	154	536
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	令和2年	473	180	371	485	430	335	147	998	3,239
	うち死亡災害	1	0	4	1	1	0	0	3	10
	令和元年	1,061	328	808	981	917	723	399	2,206	7,095
	うち死亡災害	2	0	10	2	1	0	0	9	24
	平成30年	1,044	285	727	982	937	634	378	2,218	6,920
	うち死亡災害	6	0	10	2	3	0	0	13	34



「学生実習に思う」

日産車体株式会社 保健師 金田 勢津子

弊社では、ある大学の看護学生実習を受入れている。企業における産業保健の実際を学ぶ機会とし従業員インタビューを通して健康課題をアセスメントしながら保健師業務を体験してもらっている。しかし本年はコロナ禍にあり実習中止も懸念される中、学校側の強い要望もあり内容を変更して実習してもらうこととなった。内容は現在実施しているコロナ感染予防活動や熱中症予防対策の見学さらに行政とのコロナ連携事例を紹介した。工場見学や従業員との面談も大幅縮小した内容のうえ不自由な環境の中、大変申し訳なく感じていたが、全国民の健康課題であるコロナ

感染予防における企業での取組の最前線、その中で奔走している現場の臨場感、保健師の姿を学ぶことが出来たと御礼の言葉を頂戴した。学生はスポンジの様に今そこにある保健師の動きを吸収し私の言葉を聞き漏らすまいと真剣なまなざしで学びを深めていく。その学生の姿に身の引き締まる思いがした。今ここにある健康課題に懸命に取り組むことが保健師のあるべき姿なのではないか。学びとろうとする人間の姿は美しい。私も学ぶエネルギーを枯らさずに今ここにある時代を生きていこうと思う。若い学生さんに負けないで(笑)

平塚労働基準監督署管内から次の事業場や個人の方が表彰されました!

1. 厚生労働大臣奨励賞（安全確保）

川田建設株式会社・ドービー建設工業株式会社・コアツ工業株式会社
特定建設工事共同企業体
新東名高速道路秋山高架橋（PC 上部工）工事

2. 厚生労働大臣安全衛生推進賞（個人）

矢崎 ますみ

3. 神奈川労働局長優良賞（安全確保）

クアーズテック株式会社 秦野事業所

4. 神奈川労働局長奨励賞（安全確保）

株式会社パイロットコーポレーション 平塚工場
株式会社サーブ

金属アーク溶接等作業に従事する皆様へ

「溶接ヒューム」が特定化学物質になります！

特定化学物質障害予防規則が改正されました

（令和3年4月1日施行（一部令和4年4月1日施行））

「金属アーク溶接等作業」とは、

- ・金属をアーク溶接する作業
- ・アークを用いて金属を溶断し、またはガウジングする作業
- ・その他の溶接ヒュームを製造し、または取り扱う作業

のことをいいます。

※ 屋内、屋外を問わず アークを熱源とした溶接、溶断、ガウジングの全てが含まれ、ガスやレーザーを熱源とするものは含まれません。

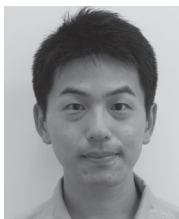
※ 自動溶接を行う場合には、溶接中に溶接機のトーチ等溶接ヒュームにばく露する作業が含まれ、溶接機のトーチから離れた操作盤の作業などは含まれません。

※溶接ヒュームとは・・・

アークの熱によって溶けた金属が蒸気となり、空気中で固体（金属酸化物）の細かい粒子となったもので、煙のように見えるものです。

必要な措置

1. 特定化学物質作業主任者の選任（令和4年3月31日まで経過措置あり）
2. 特殊健康診断の実施
3. 全体換気装置による換気
4. 溶接ヒューム濃度の測定（令和4年3月31日まで経過措置あり）
5. 床の掃除等
6. その他（有効な呼吸用保護具の備え付け、安全衛生教育の実施、など）



雑感 『こころの基地』

スタンレー電気株式会社 遠藤 克国
秦野製作所業務部 環境・施設管理課

「ただいま！」玄関からその一声をかけると、私の帰りを待ちわびていた家族はみな私のもとに駆け寄ってきて、「おかえり！」と言いながら出迎えてくれる。「おばちゃん、こんにちは！」道ですれ違った近所のおばさんにあいさつをすると、そのおばさんは微笑みを浮かべて、「かっちゃん、元気しとったね？」と声をかけてくれる。そんな何気なく交わされていた会話がどれほど貴重なものであったのか。今、私を含め、愛するふるさとを離れて懸命に生きる多くの人々は同じように気づかされているのではないかと思う。

福岡の北部に位置する豊かな自然に囲まれた小さな島。そこが私のふるさとである。コンビニやスーパー、娯楽施設など、普通はあってあたりまえのものは何もない。しかし、人々のあたたかさで島の中は満ち溢れている。困ったことがあればお互いに手を取り合い、時には海の幸や山の幸をご近所で分け合う。住む家は違えども、みな同じ屋根の下で暮らす家族のようである。家の中もあたたかさで満ち溢れている。家族でテーブルを囲んでおいしく食事をし、家族で楽しくおしゃべりをしながらリビングでくつろぐ。

一家全員にとっての特別なひとときである。

上京して早一年、これまで私は、ふるさとはない様々な便利なもの、珍しいものに出会ってきた。そして、何不自由なく暮らしていける都会の魅力に惹かれつつあった。だがここ最近、ふるさとで過ごした日々が幾度も脳裏に浮かびあがり、以前にも増してふるさとが愛おしく思えてくる。遠く離れていても、ふるさとはいつも心の中にある。それを感じながらこれからも日々を過ごしていきたい。



島の展望台から見た風景



島の海岸線

有機溶剤作業主任者技能講習

令和2年7月8日(水)、9日(木)の2日間、平塚市勤労会館3F大会議室にて、厚木支部・小田原支部共催で「有機溶剤作業主任者技能講習」が開催されました。50名の方が受講し、「有機溶剤による疾病及び健康管理」「作業環境管理」「保護具の使用法」「関係法令」などを学びました。

有機溶剤は揮発性が高いため蒸気となり呼吸を通じて体内に吸収され、肝臓・腎臓・造血器などの障害を引き起こします。また、皮膚からも吸収され繰り返し皮膚につく事で、水疱ができたり、蒸気で目や鼻の奥に炎症が起きる事もあります。

有機溶剤を取扱う事業者は、従業員の労働災害防止のため法令を遵守するとともに、快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて従業員の安全と健康を確保しなければなりません。また、従業員も事業者の労働災害防止策への

措置に協力する必要がある、そのためにも本講習の受講者の方々は事業所に戻られて、有機溶剤を安全に使用するための指導と監督を遂行される事を期待します。



(株)コベルコ マテリアル銅管 小山 記

編集後記

皆さんの事業所におかれましては、新型コロナウイルスの影響はいかがでしょうか。5月25日に緊急事態宣言が解除されて、これから以前の生活に近づいていくと思われていたところ、現在の状況はどうでしょうか。

東京都の新規感染者が毎日200人から300人となり、新規感染者の人数は平行線を描いております。

終息どころかこの先の経済、社会生活の先行きにおおきな不安があります。

7月、8月においては、猛暑の影響で熱中症予防と新型

コロナウイルス感染防止の上でマスク使用に関しては、相反することがあり、私自身はかなり苦勞しました。一人の時は、なるべくマスクを外すようにしていましたが、仕事中には外す事が出来ず苦勞しました。

“新しい生活様式”に従った生活様式の変更も必要になります。3蜜を控えて社会活動を行う事は難しいことがあります。特に生産活動現場に於いてはホームワークは出来ず、通勤時に公共交通機関の利用者に於いては通勤時間でさえも、3蜜状態をなるべく避けなければなりません、かなり難しいものと思われます。

これから、いつまで続くかわからない新型コロナウイルスの感染防止対策ですが、今まで以上に注意していきましょう。

(株)山川機械 麻生 記